

愛国学園短期大学×ブルーベリーファーム東京が 「完熟ブルーベリージャム」を共同開発 江戸川区初！産学連携による一般商品が誕生

愛国学園短期大学（東京都江戸川区、学長：平尾和子）とブルーベリーファーム東京を運営するアグリファーム合同会社（本社：東京都江戸川区、代表社員：矢野喬之）が連携し、江戸川区内では初（※）となる産学連携による一般販売商品「完熟ブルーベリージャム」を共同開発しました。

■ 開発の背景：地元農家の支援と食の専門性の融合

本連携は、地元産ブルーベリーの魅力をより多くの方に知っていただきたいという思いから始まりました。ブルーベリーには、抗酸化作用をもつアントシアニンなどが含まれ、近年は健康機能性にも注目が集まっています。栄養士（国家資格）を養成する当大学の食・栄養分野の知見とブルーベリーファーム東京が育てる江戸川区産ブルーベリーを掛け合わせることで、地域資源を活かした産学連携商品が誕生しました。今回開発したジャムは、食物栄養専攻の学生と教員がその専門知識をもとに試食評価を繰り返しおこなって、甘さや果実量のバランス調整を行い、レシピを考案しました。

■ 商品の特徴：鮮度へのこだわりと「ゴロゴロ感」

- 1. 完熟の頂点：** 樹で完熟した実を収穫直後に急速冷凍。鮮度と糖度をできる限り保った状態で商品化しています。
- 2. 贅沢な食感：** 果実の粒をあえて残す製法を採用。パンに塗るだけでなく、料理のソース、菓子の素材、ドリンクベースへ。ジャムの枠を超え、日常の食卓を多彩に彩る「果実のゴロゴロ感」を実現しました。
- 3. 安心・安全：** 保存料を一切使用せず、素材本来の味わいを引き立てています。

■ 商品概要

- 商品名（内容量）：ブルーベリージャム 愛国学園短期大学監修（140g）
- 発売日（価格）：2026年6月6日（800円）、ブルーベリー狩りオープン日
- 販売場所：ブルーベリーファーム東京の直売所、江戸川区主催イベント等

【愛国学園短期大学について】

1962年に開学した江戸川区唯一の短期大学。家政科に「食物栄養専攻」と「生活デザイン専攻」を設置。地域住民向けの「食育フェス」開催や江戸川区のSDGs関連企画への参加、公開講座を通じ、地域の皆様の健康づくりや食を通じた地域課題の解決に取り組んでいます。

【ブルーベリーファーム東京について】

江戸川区唯一の観光農園となり、都内にいながらブルーベリー狩りを楽しめる農園として、地域住民や親子連れに向けた収穫体験を提供している。

※ 愛国学園短期大学調べ。区内大学による産学連携の一般販売向け商品として。

【産学連携・監修に関するお問い合わせ先】

愛国学園短期大学 産学官連携センター(担当：小澤) 住所:東京都江戸川区西小岩 5-7-1
TEL:03-5668-7260 mail : aioffice@aikoku-jc.ac.jp HP : <https://www.aikoku-jc.ac.jp/>

【商品・販売に関するお問い合わせ先】

ブルーベリーファーム東京/アグリファーム合同会社(担当：矢野)

住所:東京都江戸川区東小岩 2-20-3 TEL:080-1075-7992

mail : taccker18milestone@gmail.com HP : <https://www.blueberrytokyo.jp/>